

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和6年2月28日

事業所名: ふあみさぼこ東谷山

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動に応じて環境設定(机の配置変更)が出来るだけの、スペースが確保されている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			配置基準を満たすようになっている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			トイレに手すりを設けている。また、療育室内に段差がない様にしている。	療育室内に段差はないものの、玄関に段差が1段ある為、ご利用者の状況に応じて今後対策していく。
業務 改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		職員それぞれの業務把握を行う為に、視覚化している。	業務の把握を行う事は出来ているが、進捗状況や、取り組んだ結果の振り返りを行う事が出来ていない為、改善が必要である。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート集計後の情報共有を行っている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は実施していないが、社内監査を実施し必要に応じて改善を図っている。	
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に1~2回実施が行えている。		
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動立案後に、職員全員で共有と改善策を考える事が出来ている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			3か月単位の運動活動プログラムにおいては、アレンジの必要性がある為、必要に応じて対策を取っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼時に当日の様子等についての情報共有を行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			当日に記録を残す事で、翌日に情報共有ができやすい環境設定に努めている。	要点をまとめた文章構成に努める。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○					
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係 機関 や 保 護 者 と の 連 携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現在医療的ケアを必要とする対象者がいない為、未実施となっている。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		該当者がいない。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			研修を受ける機会がある際には、積極的に参加していく。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		外出先での交流(公共施設等)がある。	保護者のニーズに合わせて、機会を設けていく。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		参加出来ていない為、情報収集を行い、可能であれば参加していきたい。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		面談時に、関わり方等の助言を行っている。	現時点でペアレント・トレーニング等の導入は難しい為、面談等とおして、相談援助を行っている。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会の実施を行っている。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35 個人情報に十分注意しているか	○				
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		活動を通して公共施設の利用を行う事で、地域の方との関わりを持つ機会を作っている。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非 常 時 等 の 対 応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マ ニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要 な訓練を行っているか	○			年に2回避難訓練を実施してい る。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適 切な対応をしているか	○				
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、 組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を 得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に 基づく対応がされているか		○			アレルギー調書はあるが、医師の指示書はない ため、ご利用者のアレルギーの状況に応じて、 医師の指示書に基づく支援を行っていく。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)